

2021

Chukyo bank
Disclosure Report

2021年3月期 ディスクロージャー誌
2020.04.01 ▶ 2021.03.31



ごあいさつ

日頃から中京銀行をお引き立ていただきまして誠にありがとうございます。

この度、2021年3月期ディスクロージャー誌を作成いたしました。ご一読いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いです。

さて、昨年度の我が国経済は、年度の初めから新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化し極めて厳しい状況となりました。外出自粛などの影響により個人消費や非製造業の動きに弱さは続くものの、年度後半には各種政策の効果や海外経済の回復により、輸出や生産を中心に持ち直しの動きとなりました。

このような情勢のもと、当行の主要な営業地域である愛知県では、各種政策の効果や海外経済の改善もあり持ち直していくことが期待されるものの、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響など、経済を下振れさせるリスクがあることを認識しております。加えて、当行を取り巻く経営環境は中長期的には、人口減少による国内市場の縮小やコロナ禍で加速したデジタルライゼーションによる新たな競争の進展、お客さまのライフステージに応じた多様なニーズの高まりや、預貸利益や有価証券利息配当金の収益性低下など、急速な環境変化に対応しうるビジネスモデルへの抜本的な変革の必要性を認識しております。

こうした厳しい経営環境のもと、収益を確保し、経営体力のある今だからこそ、抜本的な変革を行い、経営の健全性を高めることが必要であると判断し、2021年4月から第18次中期経営計画<CXプラン>を開始いたしました。CXプランでは、地域社会の成長に貢献するため、お客さまのライフステージに応じた総合的なコンサルティングを、金融仲介機能とともに包括的かつタイムリーに提供する企業へ転換し、テーマである“金融機能を有する地域貢献型コンサルティング会社へ”を目指してまいります。

お客さまの多様なニーズにお応えし、経営ビジョンに掲げる「いちばんに相談したい銀行」を実現するため、役職員一同、一丸となって努力してまいりますので、引き続き皆さまのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年7月

取締役頭取 **小林 秀夫**

コンテンツ

ごあいさつ	1
プロフィール・経営ビジョン	2
2020年度の業績(単体)	3
主要な経営指標の推移	4
資産の健全性について	5
地域のお客さまとともに	6
第18次中期経営計画 CXプラン	7
SDGsへの取組み	10
金融仲介機能の強化への取組み	12
中小企業の経営改善のための取組み	14
業務のご案内	15
各種手数料一覧	19
役員・従業員・大株主の状況	20
株式の状況・中京銀行のあゆみ・組織・関係会社	21
リスク管理・コンプライアンス体制	23
コーポレート・ガバナンスの状況	25
店舗等のご案内	27



プロフィール

名称	株式会社 中京銀行
本店所在地	名古屋市中区栄三丁目33番13号
創業	1943年(昭和18年)2月10日
資本金	318億44百万円
預金	1兆9,027億円 ※譲渡性預金を含む
貸出金	1兆5,355億円
店舗数	87カ店(うちインターネット支店1) 18カ所(店舗外現金自動設備)
従業員数	1,109名

(2021年3月31日現在)

経営ビジョン

私たちの使命

「地域社会の発展に貢献する」

1. 健全で透明性の高い経営を行い、地域の皆さまの声を真摯に受け止め、信頼される存在であり続けること。
 2. お客さま第一主義の精神で、質の高い金融サービスを提供し、お客さまの期待にお応えし続けること。
 3. 働きがいや活気に満ちた組織へ進化し続け、お客さまと地域社会の豊かな未来の創造に貢献し続けること。
- それが、私たちの使命です。

目指す姿

「いちばんに相談したい銀行」

1. 期待に応え続けるクオリティ
様々なご要望やニーズに真摯に向き合い、高い専門性と魅力ある商品やサービスの提供、MUFGグループとの連携で、お客さまの期待にお応えし続ける。
2. 健全かつ透明で信頼される経営
法令の遵守、環境への配慮、適切なリスク管理や企業情報の積極的な開示などを通じ、健全で透明性の高い経営を行う。
3. 地域に貢献し続ける存在
役職員の能力が十分に発揮され、チームワークをいかした活力ある銀行への進化によりお客さまから選ばれ、地域社会に貢献し続ける。